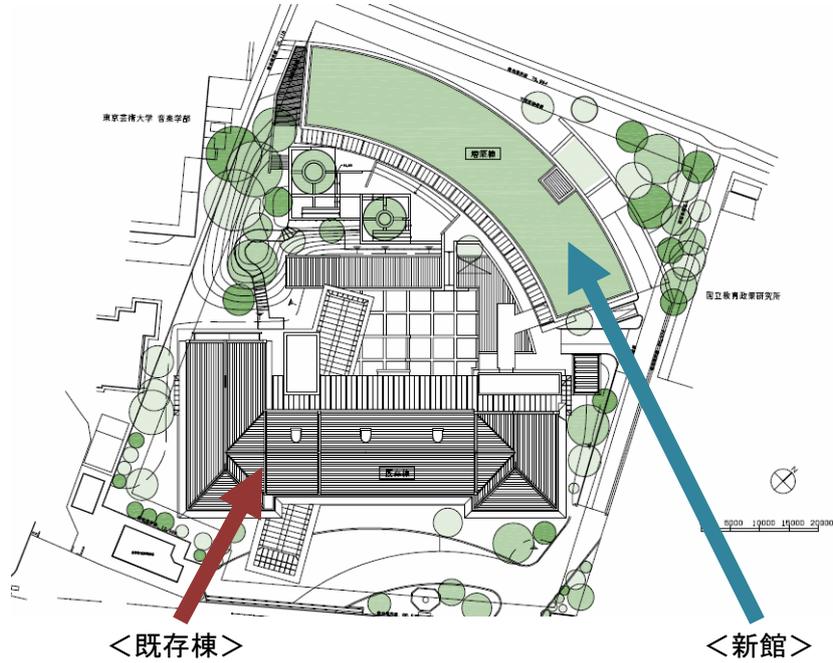


(別表)国際子ども図書館 施設拡充再編の概要



大人も子どもも共に楽しめる場としての機能

児童書専門図書館としての機能

3F	書庫	本のミュージアム ホール	連絡 通路	事務室・作業室 会議室等		3F	
	書庫			児童書研究図書室			2F
	書庫			研修室(大・小) (※将来は書庫スペース転用)			
	書庫			設備諸室			B1F
2F	書庫	調べものの部屋 国際子ども図書館を知る部屋	連絡 通路	設備諸室		B2F	
1F	空調 機室	子どものへや、おはなしのへや 乳幼児ケアコーナー、カフェテリア		設備諸室			B1F
B1F	設備諸室		設備諸室 管理諸室	書庫		B2F	
B2F	設備諸室		設備諸室	書庫			B2F

■各フロアの機能と各室の概要

<新館>

	主な室名(仮称)	概要	規模
3F	館長室・応接室	それぞれ独立した室とし、来賓等の対応に備える。	各 40 m ²
	事務室・作業室	1室に統合し、作業スペース等を含め、効率的な業務遂行を可能とする適切な面積を確保する。	630 m ²
	会議室	効率的な業務遂行のため必要な会議スペース。	60 m ²

2F	既存棟 2 階との間に連絡通路を設ける。		
	児童書研究図書室	開架書架約 45,000 冊。閲覧席は電子情報提供環境に配慮し、約 50 席。入退室ゲートを設置する。グループ研究室、子ども読書活動推進に関する情報コーナーを置く。	680 m ²
	複写センター	独立したスペースを確保して作業効率化を図るとともに、電子情報プリントアウトサービスにも対応。	35 m ²
1F	(将来的に、資料収蔵スペースとしての転用も視野に入れる。)		
	研修室(大)	100 人規模による研修(端末利用)や修学旅行等団体学習、講演会等催物を開催する。講師控室を併設。	290 m ²
	研修室(小)	50 人規模による研修、科学あそび等催物を開催する。	150 m ²
B1F B2F	約 65 万冊規模の書庫(約 2,000 m ²)を設ける。書架は集密書架を中心として収納効率を高めるとともに、一部に固定書架を設け作業の効率化を図る。書庫への入退庫は外部と直通とはせず、セキュリティを確保する。また、空調等の機械諸室及び管理諸室、業者控室を設ける。		

<既存棟>

3F	ホール	中規模の展示、建物紹介のほか、各種の催物を開催する。	375 m ²
	本のミュージアム	現在の設備を利用しつつ展示に係る資料保存環境の改善を図り、大規模な展示を行う。	255 m ²
2F	新館 2 階との間に連絡通路を設ける。		
	調べものの部屋	(現・第一資料室) 中学生程度の調べ学習に有用な資料等を配置。既存家具の活用を基本としつつ、閲覧席等、必要最低限の改修を行う。	240 m ²
	国際子ども図書館を知る部屋	(現・第二資料室) 原装を生かし、事業や電子展示を紹介する。	200 m ²
	集会室	(現・研修室、児童サービス課事務室) グループ学習や少人数グループによる研修に活用する。	各 60 m ²
1F	子どものへや	(現・子どものへや、世界を知るへや) 主に小学生程度までの子どもを対象とする、選定した絵本・読み物・知識の本などの幅広い蔵書を配置。	264 m ²
	おはなしのへや	おはなし会など小規模の催物を定期的で開催。	64 m ²
	乳幼児ケアコーナー	(現・事務室) 飲食や授乳、休憩等のスペース。救護室・休養室を併設。	160 m ²
	カフェテリア	(現行どおり)	100 m ²
BF	設備諸室のほか、管理諸室等の再配置により、運営の効率化を図る。		
書庫棟	引き続き書庫(約 830 m ²)として活用する。約 40 万冊規模。また、電算機室、展示準備室を置く。		

(建物・各室の名称は、いずれも仮称)